

会議名 第1回子ども・子育て会議

開催日 令和5(2023)年12月26日	会議時間	開会 ④M・PM 10:30 閉会 ④M・PM 12:35
会議場所 ニセコ町役場 多目的ホール3・4	記録者	こども未来課こども未来係 係長 谷井 彩乃
出席者 ニセコ町子ども・子育て会議委員 佐古岡香、新井融、亀山友紀、中江綾、渡部礼子 事務局：こども未来課長 齊藤 徹、こども未来係長 谷井彩乃 (支援委託先) 一般社団法人 北海道総合研究調査会 (通称：HIT) ※リモート参加 調査部次長 切通堅太郎、調査部員 野邊和沙		

会議日程

- (1) 開会 (進行：齊藤課長)
- (2) 委員任期が12月末までのため、今回は会長・副会長を不選出とし、課長が進行
- (3) 議題 (議事進行・説明：齊藤課長)
 - 1) ニセコ町幼児センター・こども館・放課後子ども教室等の現在の状況について
 - 2) 「ニセコ町子ども・子育て支援事業計画」とニーズ調査について ((一社)HITより説明)
- (4) 質疑及び意見交換
- (5) その他
- (6) 閉会

会議内容

- 1) 冒頭あいさつにて、課長よりニーズ調査の経緯等について簡単に説明した。
- 2) 会長・副会長選出について
ニセコ町子ども・子育て会議条例第5条で、会長及び副会長各1名を置き、会長は会議を総理、副会長は会長の補佐を行うこととされているが、現委員の任期が令和5年12月31日までであることから選出を行わず、課長にて議事進行及び説明を行った。
- 3) 議題
 - 3-1) ニセコ町幼児センター・こども館・放課後子ども教室等の現在の状況について
齊藤課長より、資料を用いて現在の状況について説明があった。
 - 3-2) 「ニセコ町子ども・子育て支援事業計画」とニーズ調査について
(一社)HITより、ニーズ調査の目的・調査対象・調査内容・実施方法や今後のスケジュールについて説明があったのち、就学前児童がいる世帯用及び就学児童がいる世帯それぞれの調査項目について、重複回答となる設問等については削減し、国の必須項目と町独自の任意項目の中で、回答者の負担軽減を図りつつ子育て支援ニーズに関わる量の見込みに関係ある部分は適切に把握できるよう項目を精査した旨資料を用いて説明があった。
- 4) 質疑及び意見交換
 - 委員：就学児童のいる世帯向けのアンケートのところで、学童の利用料が適正かどうか確認する設問を削除しているが、近隣町村の利用料と今後比較して料金を検討する際等のためにこれは残したほうがいいのでは
→今回のアンケートでも設問を削除せず残すこととする
 - 委員：アンケートのタイトルが、「〇〇計画策定アンケート」では第一印象として何を聞こうとしているのかわかりづらい
→「(たとえば) 子育てに関するアンケート」のようにわかりやすい表現にして入りやすくするよう配慮する
 - 委員：前回のアンケート調査の時の回答率が低い(未就学世帯：43.8%、小学生児童世帯：53.1%)が、アンケートの意図が分かりづらいので、設問を減らすだけではなく、何のためのアンケートでどのようにアンケート結果がフィードバックされるのか明確にした方がいいのでは。
→ニセコ町の総合計画策定のときなどは、ワークショップで出た意見やアンケート結果について広報紙等で情報を公開している。今回のニーズ調査についても、広く住民に向けて特集を組むなどして広報したい
 - 委員：アンケートの中で、子育てと子育て環境・子育て支援全般についての設問を自由記載欄とセットとしたことで、子育て中の保護者の心情を読み取る部分が無くなってしまっている。自由記載欄の設問の文章を、「子育ての不安やストレスについて」など保護者の子育てに対する気持ちの部分について掘り下げるような文言を入れたらどうか
→子育て中の保護者の気持ちに寄り添えるような文章を入れて対応する。
 - 委員：アンケートを行うにあたり、ニセコ町という土地柄日本語だけではなく英語での対応も必要だと思うが英語表記のアンケートは行うのか？
→外国人のみの世帯については役場にて勤務している国際交流員にアンケートの翻訳を依頼し、アンケートは紙で郵送して対応する

委員：子ども目線の設問が無い。学童や放課後子ども教室に行っていない子は、現在放課後何をしているのか・どんな場所で何をしたいのか、今後ニセコ町として子どもの居場所を考えていくうえでアンケートに入れたらいいと思う

→ニセコ町としても子どもの第3の居場所づくりについては現在検討しているかなければならない課題であるため、子どもの居場所づくりに関するアンケートは独自に行いたい

委員：WEBアンケートだと、紙のアンケートと違いどのくらい設問数があって所要時間はどのくらいなのか不明なので、最初に全何問で所要時間がどのくらいなのかわかるように明記した方が良い。

→WEB上でアンケート回答していくときにメーターを付けてあとどのくらい設問があるのか等わかりやすいように配慮する

※以下、欠席委員からの意見

委員：アンケートの内容が多岐にわたるので、例えば基本調査と追加調査のように2回に分けてアンケートを実施し、1回あたりの分量を減らしてはどうか。

→前回からボリュームを精査して3～4割圧縮されたことと、2回に分けた場合、回答者がどこまで回答していたかわかりにくくなるため、1回で良いのでは

委員：前回、ニセコ町の教育・保育提供区域を1区と捉えて計画を策定しているが、近藤地区は送迎バスの時間が制限されていたりして街中へのアクセスが良くないため、ニセコ小と近藤小の児童でサービス等を受ける機会に格差がある。

→放課後のこどもの居場所づくりについて、色々な可能性を見出しながら、様々な場で検討を進めていこうと思っている

委員：第2期子ども子育て支援事業計画で、H30、H31と利用者が減少しているように見えるが、なぜか（P14）。

→・H30年は出生率が下がっている

・大きな出来事としては、H30年は胆振東部地震、H31は新型コロナウイルス感染症の流行があったが、もう少し原因を調査する

5) その他

年明けに委員の皆さんについては再選を行う予定（任期は2年）。公募枠の方々も、今年度はニーズ調査、来年度計画策定となっているので、ぜひもう一度応募頂けたらと思う。

次回会議は、令和6年3月下旬を予定。ニーズ調査の結果について報告を行う。

6) 閉会